

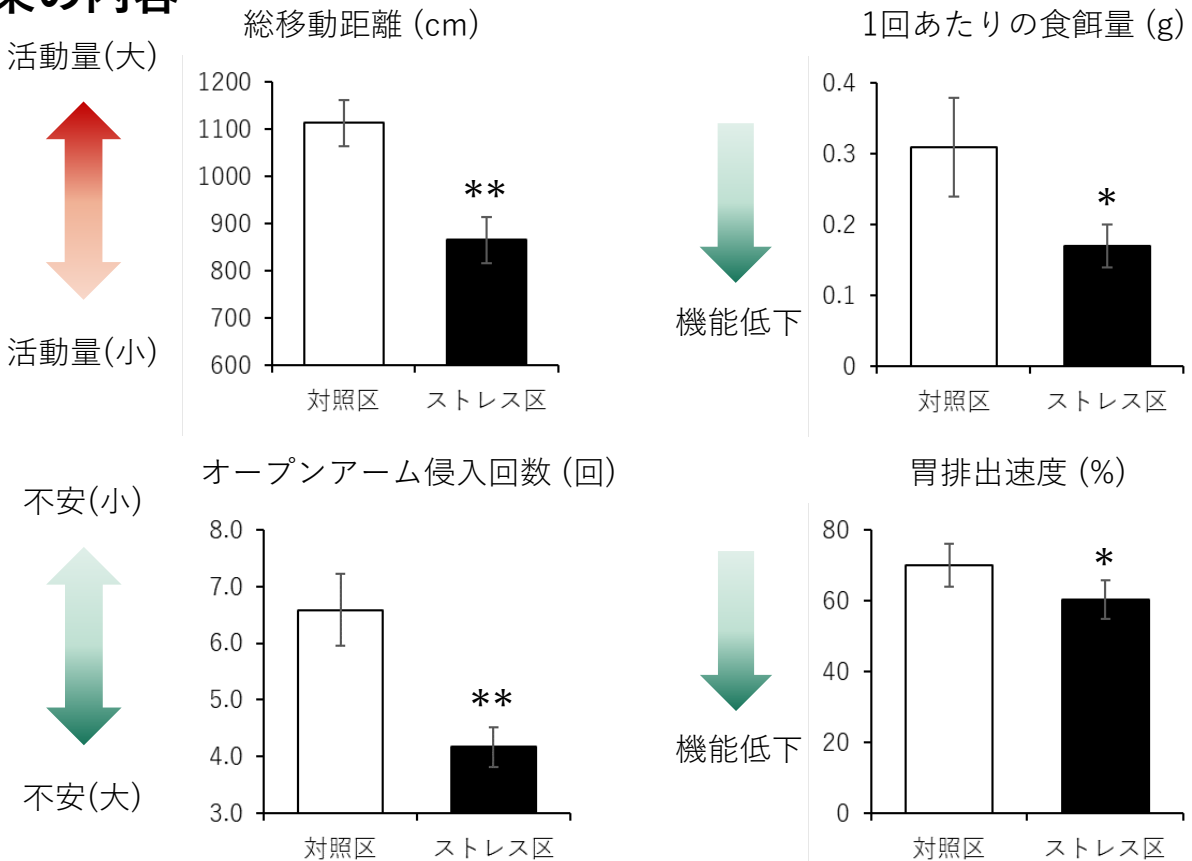
社会的敗北ストレスと消化管機能障害

— ストレスに負けない食品開発を目指して —

成果の特徴

- 精神的ストレス（社会的敗北ストレス）により、マウスは活動量が低下し、不安行動を示すようになるだけでなく、1回の食餌量が減少し、見かけの胃排出速度が早まります。
- 社会的敗北ストレスマウスは、ストレスが精神疾患や消化管機能障害を引き起こすメカニズムを解明するための動物モデル系として利用できるかと期待されます。

成果の内容



成果の活用

本動物モデルは、ストレスにより誘発される不安や消化管機能低下を軽減する食品や機能性成分の探索に活用されることが期待されます。

参考文献

The effects of chronic social defeat stress on solid gastric emptying and defecation in C57BL/6J mice. Moriya N, et al. JARQ *in press*

茨城大学との共同研究の成果です